D00584500C

TEAC

取扱説明書

MD-5 MKⅡ

MiniDisc MDLP

ミニディスクデッキ

お買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

一般的な注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

行為を指示する記号

電源プラグをコンセントから抜け

一般的な強制

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

万一、異常が起きたら

煙が出たり、変なにおいや音がするときは。
機器の内部に異物や水などが入ったときは。
この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。
すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

電源コードを傷つけない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。
電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。
コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。

電源プラグにほこりをためない。
電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

交流100ボルト以外の電圧で使用しない。
この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

通風孔に異物を入れない。
内部に金属類や燃えやすいものなど異物が入ると、火災・感電の原因となります。

機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。
内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

通風孔をふさがない。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

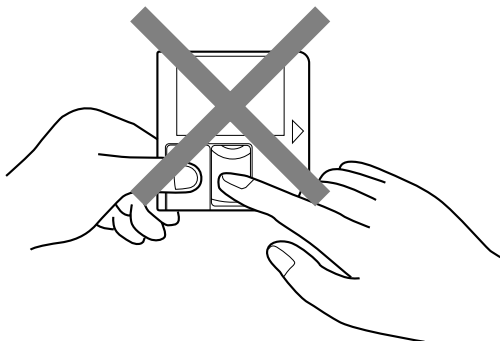
この機器のカバーは絶対に外さない。
カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。

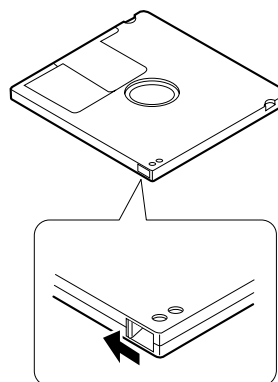
この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。
ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

安全にお使いいただくために

⚠注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
	オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。 また、接続は指定のコードを使用する。
	電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。 湿気やほこりの多い場所に置かない。 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所置かない。 火災、感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	カセットテープやディスクの挿入口に手を入れない。 特にお子様にはご注意ください。けがや故障の原因となることがあります。
	移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

MDについて

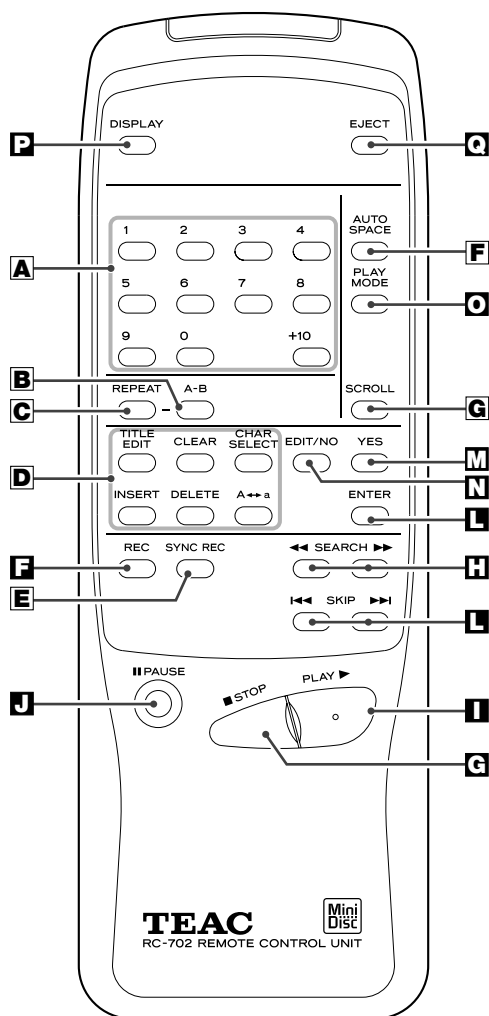
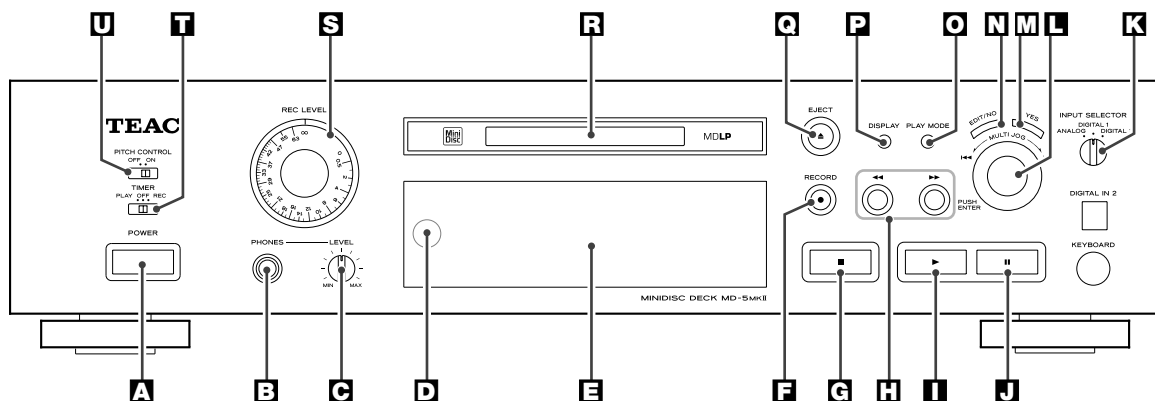
MDはカートリッジに収納されており、手軽に取り扱うことができますが、カートリッジの汚れやそりなどは誤動作の原因になることがあります。いつでもいい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

- 無理にシャッターを開けたり、中のディスクに触れたりしないでください。
- ゴミやホコリの多い場所に放置しないでください。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には置かないでください。
- MDカートリッジ表面のほこりは、乾いた布で拭き取ってください。
- MDカートリッジにラベルを貼るときは、指定の位置に正しく貼ってください。ラベルがめくれたり浮いたりしていると、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。
- ラベルを重ねて貼らないでください。
- MDが本機にセットされた状態では、カートリッジのシャッターが常に開いた状態になっています。ほこりを防ぐために、録音・再生後はMDを本機から取り出して保管してください。
- 本機を移動するときは、MDを取り出してください。

誤消去防止つまみ

MDには、大切な録音内容を誤って消さないように、誤消去防止つまみがついています。録音後、つまみをスライドさせて孔が開いた状態にすると、録音できなくなります。再び録音するときは、孔が閉じた状態に戻してください。

U-TOCとは

録音用MDでは、録音した曲の情報 (開始アドレス、終了アドレス、タイトルなど) をU-TOC というところに記録するので、ここを書き換えるだけで簡単に編集することができます。

(U-TOC：User Table of Contents)

各部の名称

A 電源ボタン [POWER]

電源のオン/オフを切り換えます。

B ヘッドホンジャック

C ヘッドホン用音量調節つまみ

ヘッドホンを使用するときは、ヘッドホンジャックにヘッドホンプラグを差し込み、音量調節つまみをまわして適切な音量に調節してください。

D リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

E ディスプレー

ディスクの総曲数や再生時間などが表示されます。

F 録音ボタン [RECORD, REC]

録音可能なディスクが入っているときにこのボタンを押すと、録音待機状態になります。(18ページ)
ディスクが入っていないときに押すと、モニター状態になります。(21ページ)

G 停止ボタン [STOP ■]

再生/録音、各種操作を停止します。

H サーチボタン [SEARCH ◀◀/▶▶]

再生中にサーチボタンを押したままでいると、早送り/早戻しができます。(11ページ)

I 再生ボタン [PLAY ▶]

MDを再生します。

J 一時停止ボタン [PAUSE ❚❚]

再生/録音を一時停止します。
もう一度押すと、一時停止が解除されます。

K 入力切換スイッチ [INPUT SELECTOR]

録音するときに、入力を切り換えます。(18ページ)

L マルチジョグ [MULTI JOG, ENTER, SKIP|◀◀/▶▶|]

各種操作に使用します。マルチジョグを押すと各種設定を保存/確定します。
再生中は選曲やスキップに使用します。

- リモコンのSKIPボタンは、本体のマルチジョグをまわしたときと同じ働きをします。
- リモコンのENTERボタンは、本体のマルチジョグを押したときと同じ働きをします。

M YESボタン

各種設定を保存/確定します。

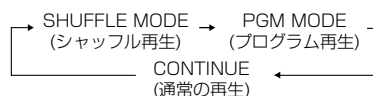
- YESボタンは、タイトルを編集するとき(30ページ)以外は、マルチジョグを押すことで代用できます。

N EDIT/NOボタン

各種設定や編集に使用します。

O プレイモードボタン [PLAY MODE]

停止中に押すと再生のモードが変わります。

SHUFFLE MODE (シャッフル再生) → PGM MODE (プログラム再生) → CONTINUE (通常の再生) → SHUFFLE MODE

P ディスプレーボタン [DISPLAY]

ディスプレーの表示を切り換えます。(35ページ)

Q イジェクトボタン [EJECT]

ディスクを取り出すときに押してください。
録音/編集が終わったら、このボタンを押してディスクを取り出してください。

R MD挿入口

電源をオンにしないと、ディスクの出し入れはできません。

S 録音レベル調節つまみ [REC LEVEL]

アナログ録音のレベルを調節するときに使用します。

T タイマー [TIMER]

別売りのオーディオ用タイマーを接続すると、タイマー再生/録音することができます。使用しないときはOFFにしておいてください。

U ピッチコントロール [PITCH CONTROL]

再生する時のピッチコントロールのオン/オフを切り換えます。

リモコンにしかないボタン

A 数字キー

選曲などに使用します。(11ページ)

B リピートA-Bボタン [A-B]

A-Bリピート再生に使用します。(15ページ)

C リピートボタン [REPEAT]

リピート再生のモードを切り換えます。(14ページ)

D タイトル編集ボタン

タイトルを編集するときに使用します。
CLEARボタンはプログラム再生にも使用します。
(30ページ)

E シンクロ録音ボタン [SYNC REC]

シンクロ録音に使用します。(21ページ)

F オートスペースボタン [AUTO SPACE]

オートスペースとオートレディのオン/オフを切り換えます。(15ページ)

G スクロールボタン [SCROLL]

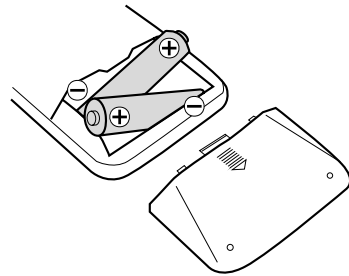
このボタンを押すとディスクまたは曲のタイトルがスクロール表示されます。(タイトルが付いている場合のみ)

リモコンの使用方法

使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

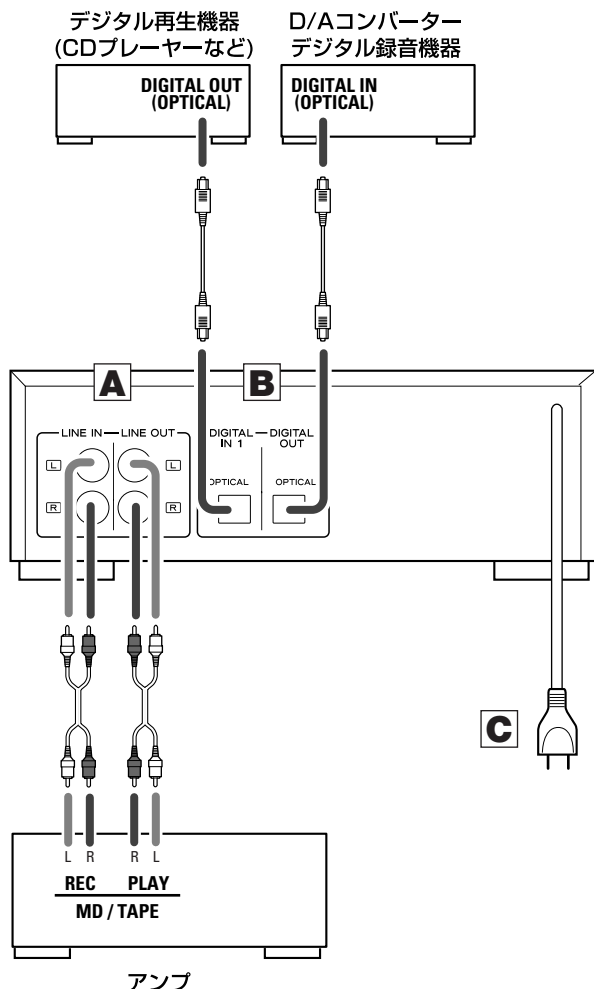
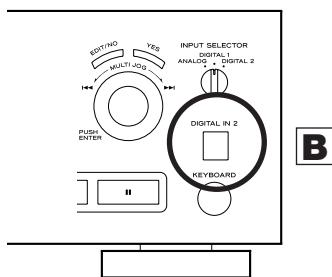
リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖表示に合わせて乾電池(単3形)2本を入れてください。

電池の交換時期は…

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

電池についての注意

⚠ **乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。**

- 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

接　続

本体前面

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

A 入出力端子［LINE IN/OUT］

アンプのMD入出力端子に接続します。白のピンプラグを白(L)端子と、赤のピンプラグを赤(R)端子と接続してください。
プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

B デジタル光入出力端子［DIGITAL IN/OUT］

本体裏面または前面のデジタル光入出力端子を、CDプレーヤー、MDデッキ、D/Aコンバーターなどのデジタル光端子と光ケーブルで接続してください。

- 光ケーブルを接続する際は、接続端子のキャップをはずしてください。使用しないときはキャップをつけておいてください。

C 電源コード

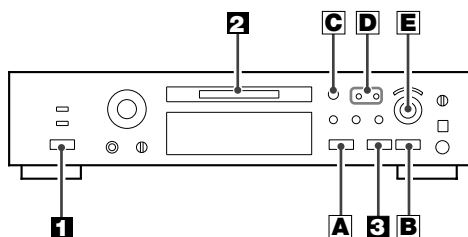
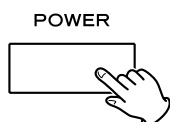
家庭用電源コンセントに接続してください。

⚠ **交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。**

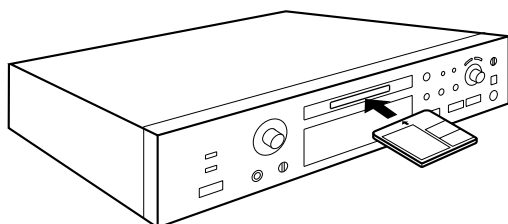
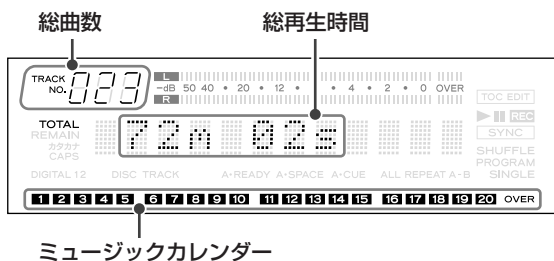
⚠ **電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。**

バックアップ機能

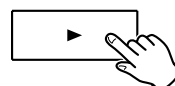
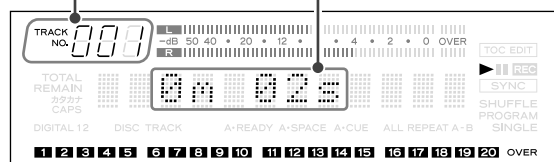
電源コードを接続した状態で5分ほど経過すると、バックアップ回路が充電されてバックアップ機能が働くようになり、各種の設定を記憶します。
電源コードを抜いた状態で3日以上放置すると、メモリーは消去されます。

再　生

1 電源を入れる。

ディスクがセットされていない場合は、"NO DISC"が表示されます。

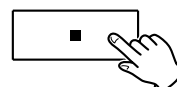
2 MDを入れる。

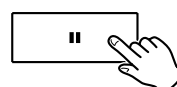
MDのラベル面を上にして、矢印の向きに入れてください。

"Disc Loading"、"TOC Reading"を表示したあと、MDに名前が付いている場合はディスク名を表示してから総曲数と総再生時間を表示します。

- ミュージックカレンダーには20曲まで表示され、再生が終わった曲から消えていきます。
- ディスクの総曲数が20曲を越える場合は"OVER"が点灯します。
- リモコンのSCROLLボタンを押すと、ディスク名または曲名をスクロール表示したあと、元の表示に戻ります。

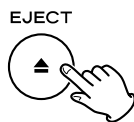
3 再生ボタン(►)を押す。

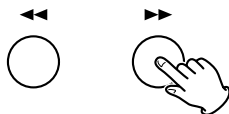
►が点灯し、曲にタイトルが付いている場合は曲名がスクロール表示されたあと、時間表示になります。
一曲目から再生が始まります。

- 録音停止後10秒以内に再生ボタンを押した場合は、録音していた曲の頭から再生します。

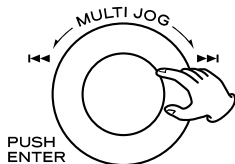
A 再生を止めるには

停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

B 一時停止するには

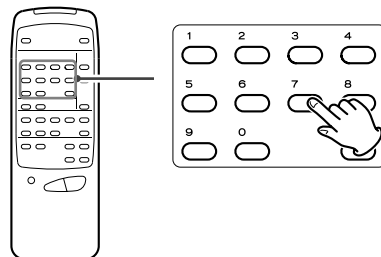
一時停止ボタン(❚❚)を押すと一時停止状態になり、ディスプレーの❚❚が点灯します。一時停止ボタン(❚❚)または再生ボタン(►)を押すと、再び再生を始めます。

C MDを取り出すには

EJECTボタン(▲)を押してください。再生が停止し、MDが出てきます。

D 聴きたい部分を探すには(サーチ)

再生中にサーチボタン(◀◀/▶▶)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

E 好きな曲から再生するには(スキップ)

再生中にマルチジョグ(|◀◀/▶▶|)を回すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて操作してください。

- 停止中および一時停止中は、曲番を選んでから再生ボタン(▶)またはマルチジョグを押すと再生が始まります。
- 再生中は、|◀◀ の方向に一回クリックすると再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、マルチジョグを続けて回してください。
- プログラム再生中は、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。
- 最初の曲の再生/停止中に左に回すと、最後の曲にスキップします。また、最後の曲の再生/停止中に右に回すと、最初の曲に戻ります。
- リモコンの場合はSKIPボタン(|◀◀/▶▶|)を押してください。

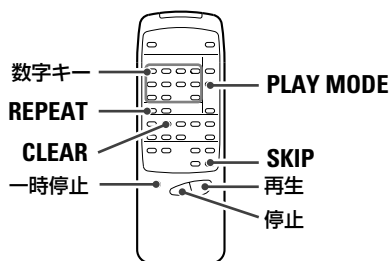
F リモコンで再生したい曲を選ぶには。

停止中または再生中にリモコンの数字キーで曲番を押すと、その曲から再生が始まります。

曲番 7：7

曲番 12：+10 ⇨ 2

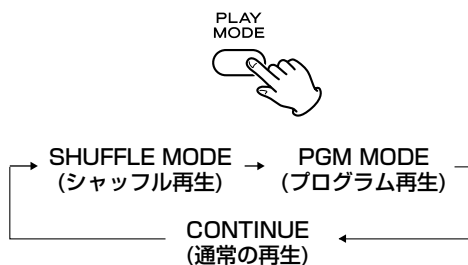
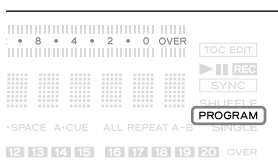
曲番 20：+10 ⇨ +10 ⇨ 0

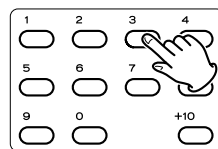
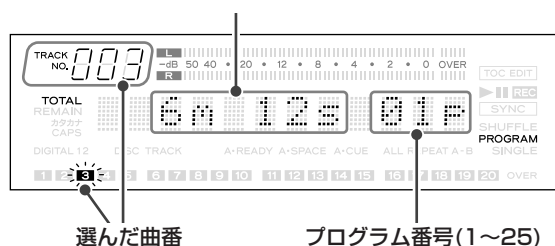
- "＋10"を押したあと、5秒以内に次の数字キーを押してください。曲番の点滅中に選曲を中断したいときは、停止ボタンまたはCLEARボタンを押してください。
- 一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。
- プログラム再生モードおよびシャッフル再生モードでは操作できません。
- "TOC Reading"の表示中にそのディスクに存在しない曲番を押すと、一番最後の曲が再生されます。

プログラム再生

聴きたい曲を聴きたい順に、25曲までプログラムして再生することができます。

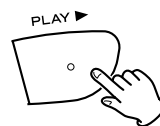
- 再生中はプログラムできません。
- プログラム再生中は、シャッフル再生はできません。

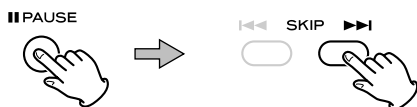
1 停止中にPLAY MODEボタンを押して、プログラム再生モードにする。

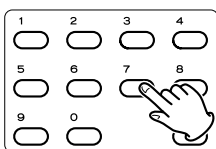
PLAY MODEボタンを押すたびにモードが変わります。

プログラム再生モードにすると"PROGRAM"インジケーターが点灯します。

2 曲番を選ぶ。

リモコンの数字キーを押すと、その曲番がプログラムされます。

- 本体のマルチジョグでもプログラムできます。マルチジョグをまわして曲番を選んでから、マルチジョグを押してください。マルチジョグを押す前に停止ボタンを押すと、その曲はプログラムされません。
- 間違えてプログラムした場合、CLEARボタンを押すと最後にプログラムした曲だけが削除されます。

3 曲番を選び終わったら再生ボタン(►)を押す。

プログラム再生が始まります。

A プログラムした内容を確認するには

一時停止ボタンを押して一時停止状態にしてから、SKIPボタン(►►I)またはマルチジョグを使ってスキップするたびに、プログラムした内容が順番に表示されます。確認が終わったら、停止ボタン(■)を押してください。

B プログラムに曲を追加するには

停止中に数字キーで希望の曲番を選ぶと、プログラムの最後に曲が追加されます。

● プログラムの途中に曲を追加することはできません。

C プログラムの一部を削除するには

停止中にCLEARボタンを押すと、最後にプログラムした曲だけが削除されます。

D 全てのプログラム内容の消去

停止中にPLAY MODEボタンを押してプログラム再生モードを解除すると、全てのプログラム内容が消去されます。

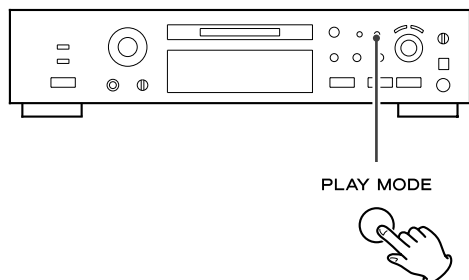
EJECTボタン(▲)を押した場合、または停止中に停止ボタン(■)を押した場合は、プログラム再生モードは解除されませんが、プログラム内容は消去されます。

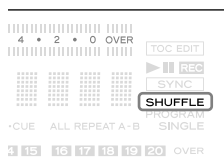
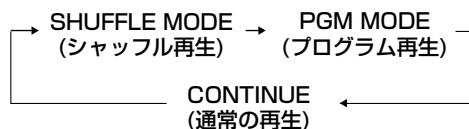
電源を切っても、プログラム再生モードは解除しません。プログラム内容も保持されます。

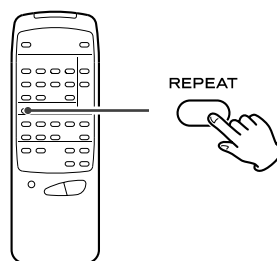
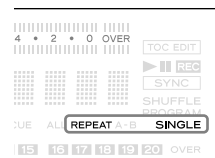
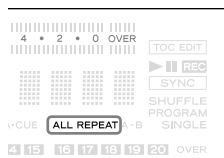
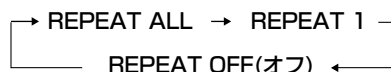
E プログラムした曲をリピート再生するには

プログラムしたあと、REPEATボタンを押して全曲リピートにすると、プログラムした曲が繰り返し再生されます。

● 25曲までプログラムできます。25曲をこえると"PGM Full !"が表示されます。
● プログラムした曲の再生時間の合計が599分59秒以上になると、"---m --s"が表示されます。
● 1曲もプログラムされていない状態で再生ボタンを押すと、プログラムモードを解除してディスクの1曲目から通常の再生が始まります。

シャッフル再生

シャッフル再生モードで再生すると、ディスクの曲がランダムに再生されます。

停止中にPLAY MODEボタンを押すたびにモードが変わります。シャッフル再生を選んでください。

- シャッフル再生中にマルチジョグを▶▶|の方向に一回クリックすると、次の曲がランダムに選択されます。|◀◀の方向にクリックすると、現在の曲の頭に戻ります。既にシャッフル再生が終わった曲には戻れません。
- シャッフル再生を中断したいときは、停止ボタン(■)またはEJECTボタン(⏏)を押してください。
- 電源を切っても、シャッフル再生モードは解除されません。シャッフル再生モードを解除したいときは、停止中にPLAY MODEボタンを2回押してください。

リピート再生

リモコンのREPEATボタンを押すたびに、リピートモードが変わります。

- 電源を切っても、リピートモードは解除されません。リピートモードを解除したいときは、REPEATボタンを押して"REPEAT OFF"を選んでください。

■全曲リピート[REPEAT ALL]

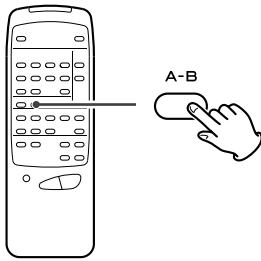
ディスクの全ての曲をくり返し再生します。
シャッフル再生モードでは、ディスクの全曲のシャッフル再生をくり返します。
プログラム再生モードでは、プログラムした曲がくり返し再生されます。

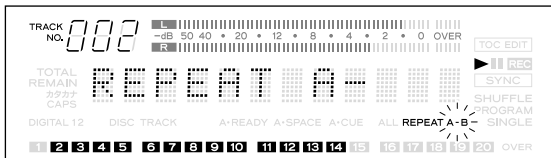
- "ALL"と"REPEAT"が点灯します。

■一曲リピート[REPEAT 1]

再生中にREPEATボタンを押して"REPEAT 1"を選ぶと、再生中の曲がくり返し再生されます。
一曲リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲のくり返し再生に変わります。

- "REPEAT"と"SINGLE"が点灯します。
- 停止中に一曲リピートに設定してから曲番を選んで再生すると、その曲がくり返し再生されます。
- シャッフル再生モードまたはプログラム再生モードのときは、一曲リピートはできません。

A-Bリピート再生

ある特定の部分を繰り返し再生することができます。

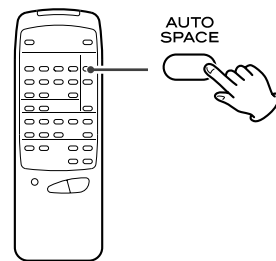
MDを再生し、繰り返しを始めたい部分(A点)になったらリモコンのA-Bボタンを押します。("REPEAT"が点灯し、"A-B"が点滅します。)

終了したい部分(B点)でもう一度A-Bボタンを押すと、指定した部分(A-B)が繰り返し再生されます。("REPEAT"と"A-B"が点灯します。)

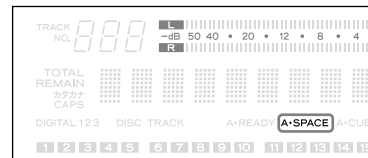
● シャッフル再生モードまたはプログラム再生モードのときは、曲番をまたいでB点を設定することはできません。

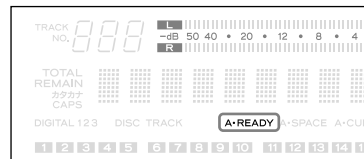
● B点を指定したあとにA-BボタンまたはREPEATボタンを押すと、A-Bリピートは解除されて通常の再生になります。

● 以下のボタンを押すと、A-Bリピートは解除されます。

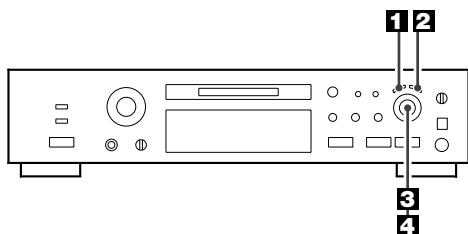
電源スイッチ
A-Bボタン
REPEATボタン
停止ボタン
EJECTボタン
マルチジョグ
SKIPボタン
数字キー

再生するとき便利な機能

停止中または再生中にリモコンのAUTO SPACEボタンを押すたびに、オートスペースとオートレディのオン/オフが切り換わります。
● 電源を切っても、設定は変わりません。
● オートスペース機能とオートレディ機能を同時に使うことはできません。

曲間にスペースを入れて再生するには(オートスペース)

オートスペースをオンにすると、曲と曲の間に約4秒間のスペースを入れて再生します。テープなどに録音するときにこの機能を使うと、テープの頭出しに便利です。
オートスペースがオンのときは"A·SPACE"が点灯します。
● オートキューとオートスペースは同時には使用できません。

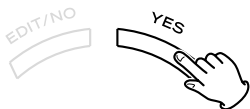
一曲再生後に一時停止するには(オートレディ)

一曲再生したあとに、次の曲の始まりを検出すると一時停止します。一時停止中に再生ボタンまたは一時停止ボタンを押すと、次の曲を再生して、また一時停止します。

オートレディがオンのときは"A·READY"が点灯します。

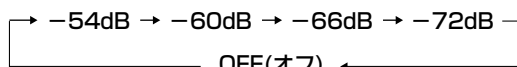
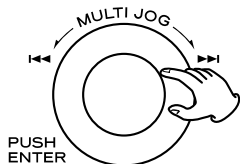
オートキュー

曲の始まりではなく、音の立ち上がり位置で一時停止状態にする機能です。
再生を始めてから、設定した検出レベルより大きな音を検出すると、一時停止します。

1 停止中または再生中にEDIT/NOボタンを押して"AUTO CUE ?"を選ぶ。

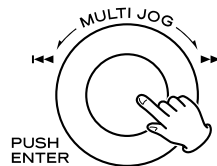
EDIT/NOボタンを押すたびに表示が変わります。

2 YESボタンまたはマルチジョグを押す。

3 マルチジョグをまわして検出レベルを選ぶ。

リモコンの場合はSKIPボタンを押してください。
オートキューがオンのときは、"A·CUE"が点灯します。
オートキューを使わないときは、OFFを選んでください。

→ −54dB → −60dB → −66dB → −72dB
OFF(オフ) ←

● 中断したい場合は、停止ボタンまたはEDIT/NOボタンを押してください。

4 マルチジョグを押す。

設定が保存されます。

● 音の立ち上がり位置で一時停止する直前に、デジタル出力端子からクリック音が出力されることがありますが、これは音を検出しているときの音で、故障ではありません。

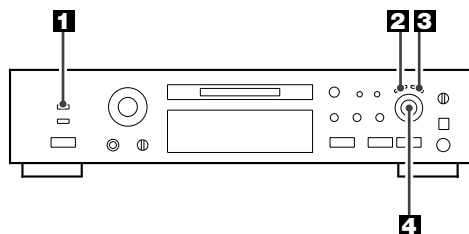
● オートキューがオンのときは、停止中にマルチジョグまたはSKIPボタンで曲番を選ぶと、オートキュー動作に入ります。

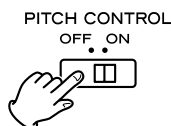
● オートレディがオンのときは、停止中にマルチジョグまたはSKIPボタンで曲番を選ぶと、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。

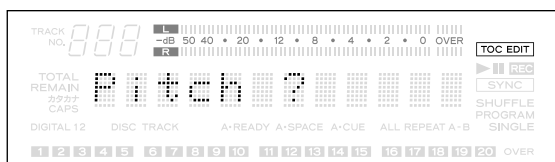
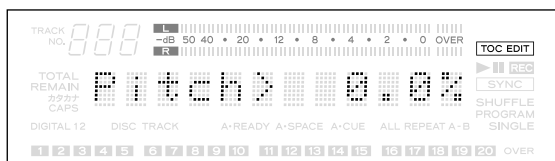
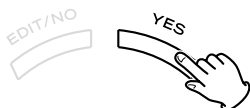
● オートキューとオートスペースは同時には使用できません。
オートキューがオンのときにAUTO SPACEボタンを押すと、オートレディのオン/オフだけが表示されます。
オートスペースがオンのときにオートキューをオンにすると、オートスペースとオートレディは自動的にオフになります。

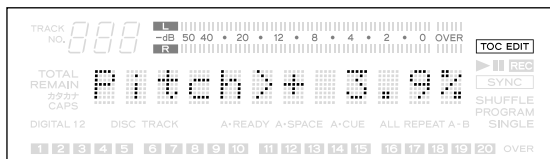
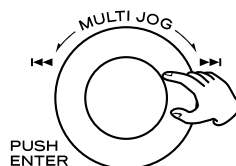
● オートキューはSPモードで録音された曲でしか機能しません。他のモードで録音された曲の場合は、オートレディと同じく曲の頭で一時停止状態になります。

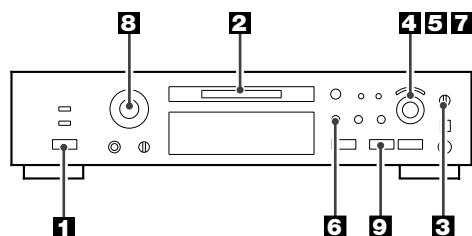
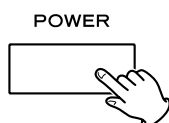
● オートキューのポイントから±1フレーム(±64m)ずれることがあります。頭の音が欠ける場合は、検出レベルを下げてください。

ピッチコントロール

MDを再生するときに、ピッチ(音程)を変えることができます。

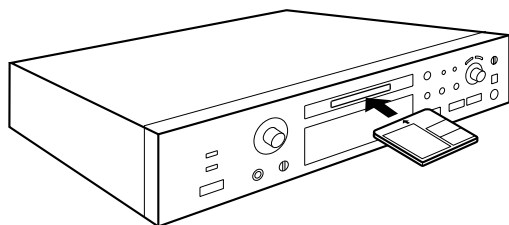
1 PITCH CONTROLスイッチをオンにする。

2 停止中または再生中にEDIT/NOボタンを押して"Pitch ?"を選ぶ。

EDIT/NOボタンを押すたびに表示が変わります。

3 YESボタンまたはマルチジョグを押す。

4 マルチジョグをまわして数値を変更する。

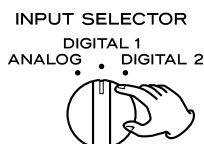
リモコンの場合はSKIPボタンを押してください。
±12%の範囲で、0.1%刻みで設定できます。

- 設定が終わったら、マルチジョグを押すと通常の表示に戻ります。
- 停止中にピッチコントロールの数値を変更した場合は、再生を始めると通常の表示に戻ります。
再生中にピッチコントロールの数値を変更した場合は、その曲の再生が終わると通常の表示に戻ります。
- ピッチコントロールを使用しないときは、PITCH CONTROLスイッチをオフにしてください。
- 再生専用のピッチコントロールです。MDに録音するときは、PITCH CONTROLスイッチがオンになっていても機能しません。
- 再生中にPITCH CONTROLスイッチをオンにすると、一瞬音が途切れます。
- LP2モードで録音された曲はピッチコントロールできません。(18ページ)
- ピッチを変えると、再生の速度も変化します。

録　音

1 電源を入れる。

ディスクがセットされていない場合は、"NO DISC"が表示されます。

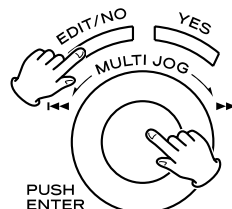
2 録音用のMDを入れる。

MDのラベル面を上にして、矢印の向きに入れてください。

● 途中まで録音してあるMDを入れた場合は、録音済みの部分の終わりから続けて録音されます。

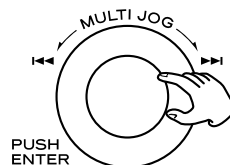
3 INPUT SELECTORで入力を切り換える。

● INPUT SELECTORはゆっくりまわしてください。

ANALOG(アナログ入力)
　LINE IN端子に接続した機器から録音するとき
DIGITAL 1(デジタル入力)
　DIGITAL IN 1端子と光ケーブルで接続した機器から録音するとき
DIGITAL 2(デジタル入力)
　本体前面のDIGITAL IN 2端子と光ケーブルで接続した機器から録音するとき

4 "REC MODE ?"を選ぶ。

EDIT/NOボタンを押すたびに表示が変わります。"REC MODE ?"が表示されているときに、マルチジョグまたはYESボタンを押してください。

● "REC MODE"は、録音用のMDが入っているときしか表示されません。
● "REC MODE"は停止中または録音待機中に表示されます。録音中は表示されません。

5 マルチジョグで録音モードを選ぶ。

マルチジョグをまわして録音モードを選んでから、マルチジョグを押してください。
リモコンの場合はSKIPボタンとENTERボタンで選んでください。

SP：最長80分のステレオ録音
MONO：最長160分のモノラル録音
LP2：最長160分のステレオ録音(2倍長時間録音)
LP4：最長320分のステレオ録音(4倍長時間録音)

● 上記は80分ディスクを使用した場合の録音時間です。

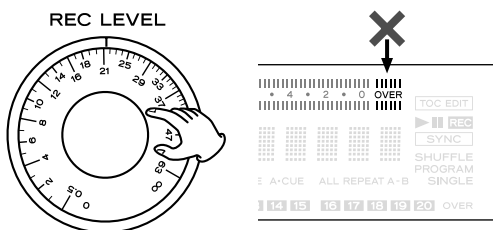
6 RECORDボタンを押す。

録音待機状態になり、❚❚と"REC"が点灯します。

7 曲番の付け方を選ぶ。(オートトラック)

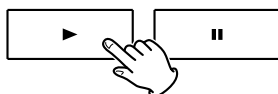
EDIT/NOボタンとマルチジョグを使って、オートトラックのオンまたはオフを選んでおいてください。(20ページ)

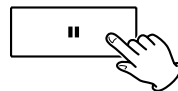
8 録音レベルを調節する。(アナログ入力の場合)

録音するソースの音を出し、音が最も大きい時にピークレベルメーターの"OVER"の部分が点灯しないように、REC LEVELつまみをまわして調節してください。

- デジタル入力でCDなどを録音する場合、通常は録音レベルを調節する必要はありませんが、±6dBの範囲でデジタル録音レベルを調節することができます。(20ページ)

9 録音を始める。

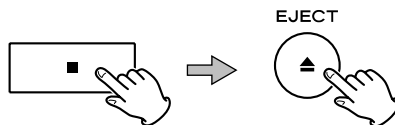
アンプを経由して録音する場合は、アンプのREC SELECTORを録音するソースにしてください。

本機の再生ボタン(►)または一時停止ボタン(❚❚)を押してから録音するソースを再生し、録音を始めてください。

録音を一時停止するには

一時停止ボタン(❚❚)を押すと一時停止状態になり、ディスプレーの❚❚が点灯します。再び録音を始めるには、一時停止ボタン(❚❚)または再生ボタン(►)を押してください。

- 録音を一時停止するたびに、曲番が付きます。

- 録音中にRECORDボタンを押すと、曲番が付きます。
- デジタル接続でCDの一曲をリピート再生して録音する場合、曲番が付かないことがあります。録音後に編集するか、曲が始まる度にRECORDボタンを押して曲番を追加してください。
- デジタル接続でMDの録音を開始した後にCDの再生を始めた場合、不要な曲番が付いてしまうことがあります。録音後に編集して削除するか、CDシンクロ録音を行ってください。
- 録音中にINPUT SELECTORまたは録音モードを切り換えると、録音待機状態になります。

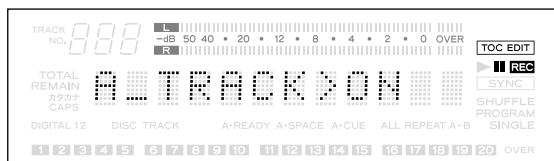
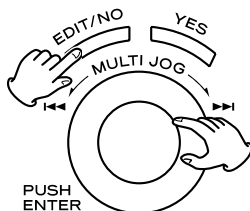
録音が終わったら

停止ボタン(■)を押して録音を停止してから、EJECTボタン(⏏)を押すと、"UTOC Writing"が点滅し、UTOCがディスクに記録されます。

録音したあと、ディスクを入れたままで電源を切ると、UTOCを記録できません。電源を抜いた状態で3日以上放置すると、録音した内容が消失する恐れがありますので、録音が終わったら必ずEJECTボタン(⏏)を押してディスクを取り出してください。

> 録音中および"UTOC Writing"の点滅中は、録音した内容をディスクに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

録音するとき便利な機能

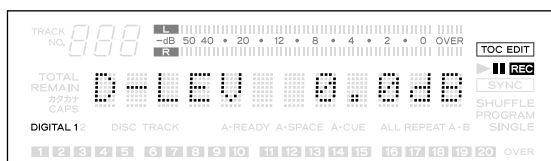
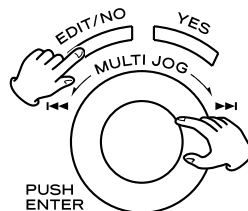
オートトラック [A_TRACK]

オートトラックをオンにすると、録音中に自動的に曲番を付けることができます。デジタル信号で曲の変わり目を検出した場合や、入力信号が4秒以上続けて一定のレベル以下になったあとに次の曲が始まった場合に、自動的に曲番を更新します。

録音待機中または録音中に、EDIT/NOボタンで"A_TRACK"を表示させてからマルチジョグを押すと設定を変更できる状態になります。
マルチジョグをまわしてON(オン)またはOFF(オフ)を選んでからマルチジョグを押して終了してください。

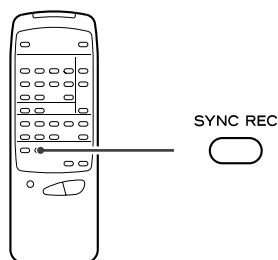
オートトラックがオフのときは、録音中、曲番を付けたいところでRECORDボタンを押して曲番を付けてください。

- ● オートトラックがオンのときでも、録音中にRECORDボタンを押すと曲の途中に曲番を追加することができます。
- ● 録音後に曲番を付けたいときは、編集操作で「曲を分割」してください。
- ● デジタル接続で、一曲をリピート再生して録音すると、曲番が正しく付かないことがあります。
- ● オートトラックを使って録音すると、一曲あたりの長さ(再生時間)が一致しないことがあります。
- ● デジタル再生機器によっては、曲番の情報をデジタル出力しないものがあります。そのような機器からデジタル接続で録音すると、曲番が正しく付かないことがあります。
- ● 雑音のあるソースや、クラシックなど曲間に非常に音の小さな部分があるソースを録音する場合、うまく曲番を付けられないことがあります。その場合は録音後に編集してください。
- ● オートトラックの設定は、電源を切って放置しても、半永久的に保持されます。

デジタル録音レベル

デジタル入力でCDなどを録音する場合、通常は録音レベルを調節する必要はありませんが、±6dBの範囲でデジタル録音レベルを調節することができます。

録音待機中にEDIT/NOボタンで"D-LEV 0.0dB"を表示させてからマルチジョグを押すと、設定を変更できる状態になります。
マルチジョグをまわして設定を変更したら、マルチジョグを押して終了してください。

- ● ±6dBの範囲で、0.5dB刻みに設定できます。
- ● 電源を切ると、デジタル録音レベルは0dBにリセットされます。

シンクロ録音

19ページの8のあと、または録音レベルなどの設定を終えた段階でSYNC RECボタンを押すと、シンクロ録音待機状態になり、 SYNC が点灯します。
録音するソースを再生し、ある一定のレベル以上の入力を検出すると、シンクロ録音を開始します。
録音中に無音状態が約5秒続くと、録音待機状態になります。

● シンクロ録音中にSYNC RECボタンを押すと、通常の録音になります。また、通常の録音中にSYNC RECボタンを押すと、そこからシンクロ録音になります。

● シンクロ録音中に一時停止ボタン(❚❚)を押して録音を一時停止すると、シンクロ録音は解除されます。

● シンクロ録音中にRECORDボタンを押して曲番を追加しても、シンクロ録音は解除されません。

● ソースの再生が終わって無音状態が5秒以上続くと、本機は録音待機状態になります。停止ボタン(■)を押して録音を終了してください。

● 小さな音から始まる曲や、雑音のあるソースを録音するときは、シンクロ録音ではうまく録音できないことがあります。

● シンクロ録音機能を使って録音すると、一曲あたりの長さ(再生時間)が一致しないことがあります。

接続している機器の音を聴くには

ディスクがセットされていない状態でRECORDボタンを押すとモニター状態になり、INPUT SELECTORで選択されている機器の音をモニターすることができます。

● モニターを終了するときは、停止ボタン(■)を押してください。また、ディスクを挿入すると、モニター状態は解除されます。

● 録音モードが"MONO"になっていても、ステレオで出力されます。

録音するときの注意

以下の表示が出た場合は録音できません。

停止ボタンを押して表示を消してから、原因を取り除いてください。

"Disc Full !!"
　MDがいっぱいです。不要な曲を消去するか、別のMDを使用してください。

"Protected !!"
　誤消去防止状態になっています。MDの誤消去防止つまみをスライドさせて孔をふさいでください。

　再生専用のMDには録音できません。録音用のMDを使用してください。

"D-IN UNLOCK !"
　DIGITAL IN 1または2に機器が接続されていない状態、または接続した機器の電源が入っていないときにINPUT SELECTORでDIGITAL IN 1または2を選ぶと、表示されます。接続した機器の電源を入れるか、ANALOGを選んでください。

"Cannot Copy !"
　シリアルコピーマネージメントシステムで制限されているため、デジタル録音はできません。アナログで録音してください。

　デジタル入力されている信号がオーディオ信号ではないため、録音できません。

デジタル録音するときのルール

シリアルコピーマネージメントシステム

本機は、シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音すること(コピー)」を「1世代まで」と規制したものです。以下の原則があります。

「CD、MDなど市販のデジタル音楽ソフト」や、「アナログレコードやFM放送などをデジタル録音したもの」のコピーはできますが、コピーのコピーはできません。

オートサンプリングレートコンバーター

一般のデジタルオーディオには、次の3種類のサンプリング周波数が使われています。

48kHz　：DATの標準モード、衛星放送のBモードなど。
44.1kHz：DATの標準モード、CD、MDなど。
32kHz　：DATの標準および長時間モード、
　　　　　衛星放送のAモードなど。

CS/BS放送やDATなど、MDと異なるサンプリング周波数(FS)のソースや、ピッチコントロールのかかったデジタル信号が入力された場合、本機はそれぞれのサンプリング周波数を44.1kHzに自動変換して録音します。また、CDやMDなど、44.1kHzのソースを録音するときは、サンプリングレートコンバーターを使わずに録音します。これにより、サンプリング周波数が32kHz～48kHzのソースを、切り換え操作なしに高音質なデジタル信号のまま録音することができます。

(DAT：Digital Audio Tape)

編集の前に

録音した曲を、消したり移動したり分割したりして編集することができます。また、ディスク名や曲名を付けることもできます。(再生専用のMDは編集できません)

● シャッフル再生モードおよびプログラム再生モードでは編集できませんので、リモコンのPLAY MODEボタンを押して通常の再生モード(CONTINUE)にしておいてください。

● MDが誤消去防止状態になっていると編集できません。そのディスクを編集したい場合は、MDの誤消去防止つまみをスライドさせて孔をふさいでください。

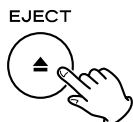
● LP4で録音した曲を編集(DIVIDE, COMBINE)すると、分割した部分や繋ぎ目の部分でのみ、左右のチャンネル間で若干の音漏れをすることがあります。

"Disc Error !"が表示されたら

正常なはずのMDで"Disc Error !"が表示された場合は、MDを入れ直してみてください。

● "Disc Error !"が表示された場合、MDの内容を全て消去することはできますが、編集結果を取り消すことはできません。

編集が終わったら

録音/編集すると、 TOC EDIT が点灯します。EJECTボタン(⏏)を押してMDを取り出すと、録音/編集した内容がMDに記録されて TOC EDIT が消灯します。

"UTOC Writing"が表示されているときは

編集した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。編集内容を正しく記録できなくなります。

編集結果を取り消すには [UNDO]

間違って編集してしまった場合、最後に行った編集を取り消すことができます。取り消した後は、始めから編集作業をやり直してください。

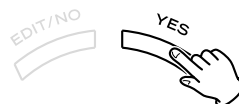
注意

以下の場合は、編集結果を取り消すことはできません。
編集後にMDを取り出した場合。
編集後に他の編集作業を行った場合。
編集後に録音した場合。

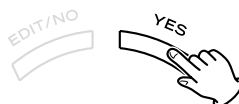
1 停止中にEDIT/NOボタンを押して"UNDO ?"を選ぶ。

EDIT/NOボタンを押すたびに表示が変わります。"UNDO ?"が表示されるまでくり返し押してください。

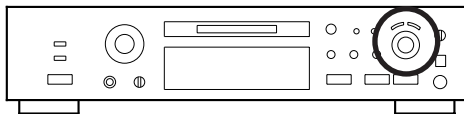
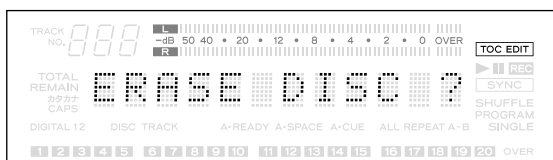
● 編集結果を取り消しできないときは、"UNDO ?"は表示されません。

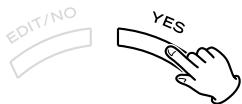
2 YESボタンを押す。

"Undo OK ?"が表示されます。

● 中断したい場合は、停止ボタンまたはEDIT/NOボタンを押してください。

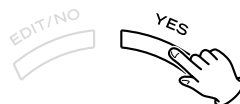
3 もう一度YESボタンを押す。

"COMPLETE"が表示されて、編集結果が取り消されます。

● 録音結果は取り消しできません。
● 取り消したものを元に戻すことはできません。

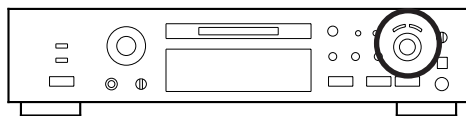
全ての曲を消去するには　[ERASE DISC]

1 停止中にEDIT/NOボタンを押して"ERASE DISC ?"を選ぶ。

EDIT/NOボタンを押すたびに表示が変わります。"ERASE DISC ?"が表示されるまでくり返し押してください。

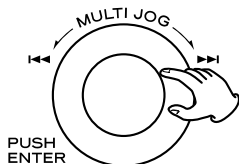
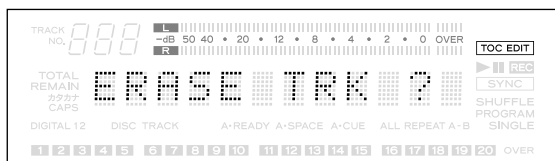
2 YESボタンを押す。

"Sure ?"(本当に実行して良いですか?)が表示されます。

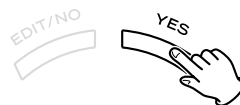
● 編集を中断したい場合は、停止ボタンまたはEDIT/NOボタンを押してください。

3 もう一度YESボタンを押す。

"COMPLETE"が表示されて、ディスクの全曲が消去されます。
消去が終わると、"Blank Disc"が表示されます。

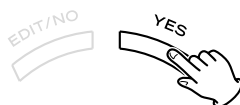
● "COMPLETE"の表示中は、EJECTボタン(⏏)や電源スイッチを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。

一曲だけ消去するには　[ERASE TRK]

例：曲番3を消去する場合

1 停止中または再生中にマルチジョグをまわして、消去する曲番を選ぶ。

2 EDIT/NOボタンを押して"ERASE TRK？"を選ぶ。

EDIT/NOボタンを押すたびに表示が変わります。"ERASE TRK ?"が表示されるまでくり返し押してください。

3 YESボタンを押して曲番を確定する。

"Track OK ?"が表示されます。

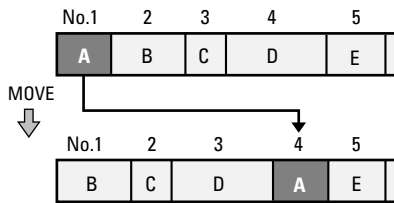
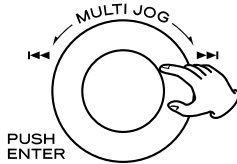
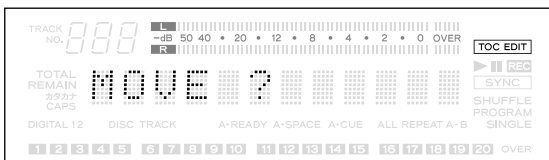
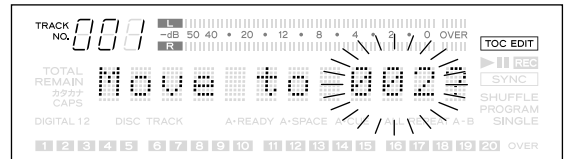
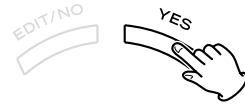
● 編集を中断したい場合は、停止ボタンまたはEDIT/NOボタンを押してください。

4 もう一度YESボタンを押す。

"COMPLETE"が表示されて、選択した曲が消去されます。

● "COMPLETE"の表示中は、EJECTボタン(⏏)や電源スイッチを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。
● 複数の曲を消去するときは、1～4をくり返してください。
● "DIVIDE"、"ERASE TRK"、"COMBINE"を使えば、曲の中の一部分だけを消去することもできます。

編集

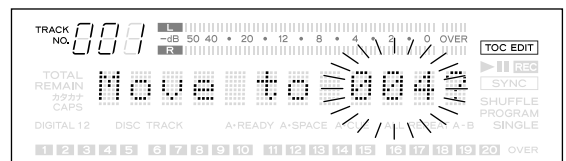
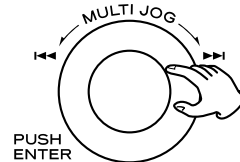
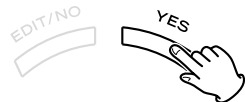
曲を移動するには [MOVE]

例：曲番1から曲番4に移動する場合

1 停止中または再生中にマルチジョグをまわして、移動したい曲番を選ぶ。

2 EDIT/NOボタンを押して"MOVE ?"を選ぶ。

EDIT/NOボタンを押すたびに表示が変わります。"MOVE ?"が表示されるまでくり返し押してください。

3 YESボタンを押す。

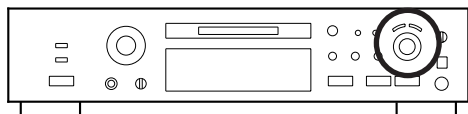
移動先の曲番が点滅します。

- 編集を中断したい場合は、停止ボタンまたはEDIT/NOボタンを押してください。

4 移動先を選ぶ。

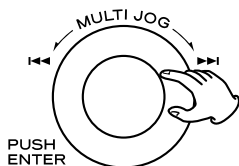
マルチジョグを回して移動先の曲番を選んでください。

5 YESボタンまたはマルチジョグを押す。

"COMPLETE"が表示されて、選択した曲が移動されます。

- "COMPLETE"の表示中は、EJECTボタン(▲)や電源スイッチを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。

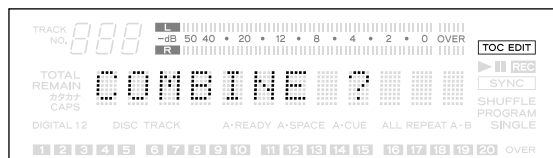
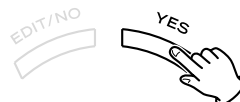
曲をつなぐには［COMBINE］

連続した2つの曲を1つにつなぐことができます。つながれた曲の曲番と曲名は削除され、1つ目の曲の曲番と曲名が付きます。
それ以降の曲の曲番は自動的に更新されます。

● 録音モードが異なる曲をつなげることはできません。(18ページ)

例：曲番5を曲番6とつなげる場合。

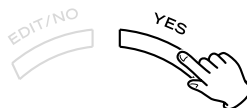
1 停止中または再生中にマルチジョグをまわして、つなぎたい曲番を選ぶ。

選択した曲番が、ひとつ前の曲とつながれます。
たとえば曲番5と6をつなげる場合は、曲番6を選んでください。

● 曲番1を選択しても、つなげることはできません。

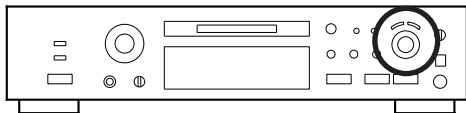
2 EDIT/NOボタンを押して"COMBINE ?"を選ぶ。

EDIT/NOボタンを押すたびに表示が変わります。
"COMBINE ?"が表示されるまでくり返し押してください。

3 YESボタンを押す。

"Rehearsal"を表示し、つなぎ目の部分がくり返し再生されます。

● 編集を中断したい場合は、停止ボタンまたはEDIT/NOボタンを押してください。

4 もう一度YESボタンを押す。

"COMPLETE"が表示されて、曲がつながります。

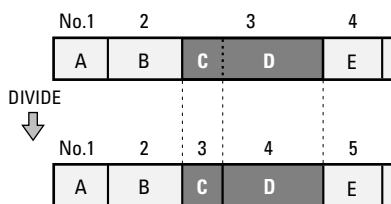
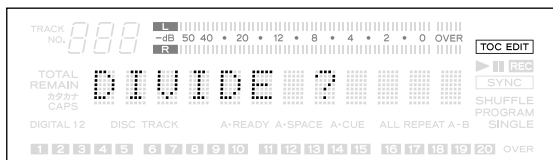
● "COMPLETE"の表示中は、EJECTボタン(▲)や電源スイッチを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。

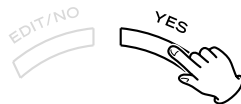
曲を分割するには [DIVIDE]

ひとつの曲として録音されたものをいくつかに分割することができます。アナログ録音したMDなどで、ひとつの曲番に複数の曲が録音されているときや、曲の途中で頭出しのための曲番を付けたいときに、この機能が使えます。分割したところよりあとの曲には、連続した新しい曲番が付きます。リハーサル機能を使うと、分割する位置を正確に指定できます。

例：曲番3を分割する場合

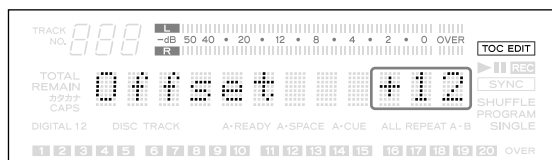
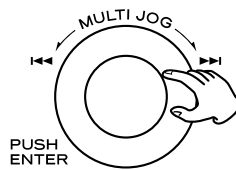
No.1　2　3　4
A　B　C　D　E

DIVIDE

No.1　2　3　4　5
A　B　C　D　E

1 分割したい曲の再生中または一時停止中にEDIT/NOボタンを押して、"DIVIDE ?"を選ぶ。

EDIT/NOボタンを押すたびに表示が変わります。"DIVIDE ?"が表示されるまでくり返し押してください。

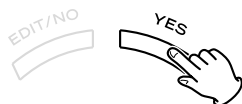
2 分割したいところでYESボタンを押す。

"Point OK ?"と"Rehearsal"を交互に表示し、分割する位置より後の4秒間がくり返し再生されます。

リハーサルする必要がない場合は、4 に進んでください。

3 リハーサル機能を使って分割する位置を調節する。

音を聴きながらマルチジョグを回して調節してください。リモコンの場合は、スキップボタン(⏮/⏭)で調節してください。

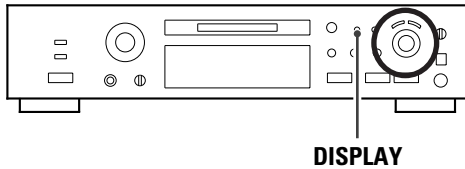
- マルチジョグを回すと、2 でYESボタンを押した位置の前後を、オフセット−128〜＋127の範囲で調節できます。
  ±1は録音モードによって変わります。SPでは約0.06秒、MONOおよびLP2では約0.13秒、LP4では約0.26秒です。

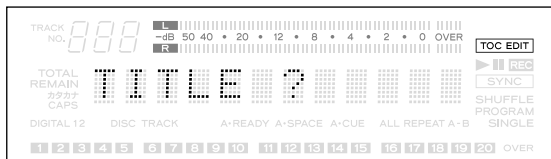
- 編集を中断したい場合は、停止ボタンまたはEDIT/NOボタンを押してください。

4 YESボタンを押す。

"COMPLETE"が表示されて、曲をふたつに分割し、2曲目の頭から再生を続けます。一時停止中だった場合は、2曲目の頭で一時停止します。

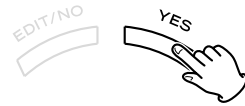
● "COMPLETE"の表示中は、EJECTボタン(▲)や電源スイッチを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。

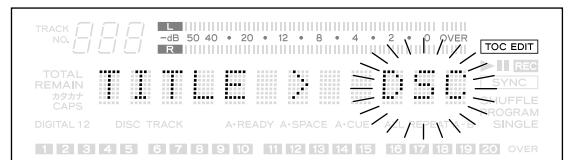
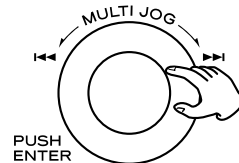
● 分割した曲の間にブランク(無録音部分)は入りません。
● MDのシステム上の制約により分割できないことがあります。
● 分割する曲にタイトルが付いていても、分割した後半の曲にはタイトルが付きません。
● 曲の出だしでは分割できません。

タイトルの編集 1

カタカナ、アルファベットの大文字と小文字、数字、記号を使って、曲やMDにタイトルを付けることができます。タイトルは再生中に表示され、タイトルで曲を探すこともできます。

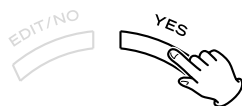
1 停止中、再生中または録音中にEDIT/NOボタンを押して"TITLE ?"を選ぶ。

EDIT/NOボタンを押すたびに表示が変わります。"TITLE ?"が表示されるまでくり返し押してください。

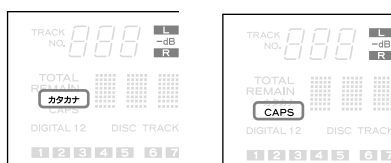
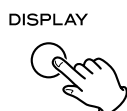
- リモコンの場合は、TITLE EDITボタンを押して3に進んでください。

2 YESボタンを押す。

- 編集を中断したい場合は、停止ボタンまたはEDIT/NOボタンを押してください。

3 マルチジョグを回して編集モードを選ぶ。

マルチジョグを回すと、ディスプレーの点滅部分の表示は以下のように変わります。

DSC　: ディスクにタイトルを付けるとき。
001～　: 曲番にタイトルを付けるとき。
AINC　: ディスクと全ての曲にタイトルを付けるとき。(Auto Increment)

4 YESボタンを押す。

"DSC>_"または"001(曲番)>_"が表示されます。

5 DISPLAYボタンで入力する文字の種類を選ぶ。

表示なし：アルファベット小文字

CAPS：アルファベット大文字

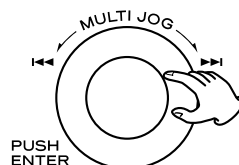
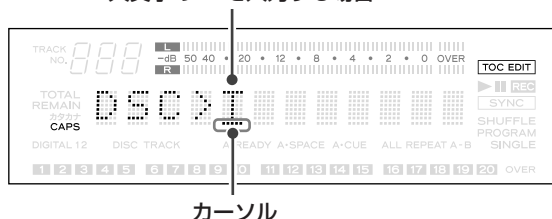
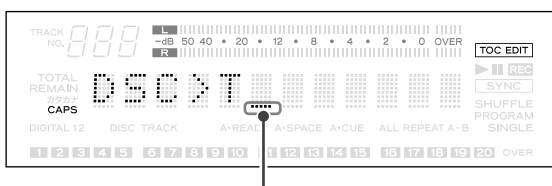
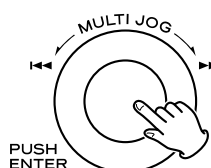
カタカナ

□→ア→イ→・・・→ワ→ン→゛→゜→ヲ→ァ
/←.← ー ← ,←ッ←ョ←・・・←

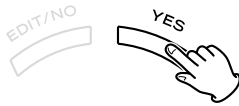
(記号 :;<=>?@!"#$%&'( )*+,-./_`)

● 「カタカナ」の ゛と ゜は、カ行やハ行など濁音にできる文字が入力された場合だけ、その右隣りのスペースに入力できます。

6 文字を入力する。

マルチジョグを回して文字を選んでから、マルチジョグを押すと、文字が入力されてカーソルがひとつ右に移動します。
タイトルの文字を全部入力するまでこの操作を繰り返してください。

大文字の"T"を入力する場合

カーソルが右に移動

タイトルの編集 2

7 全部の文字の入力が終わったら、YESボタンを押す。

停止中の場合はディスク名を、再生中の場合は再生中の曲のタイトルを表示したあと、通常の表示に戻ります。

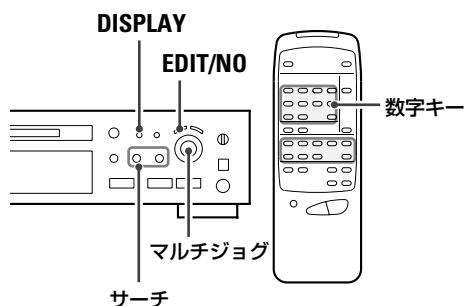
複数の曲にタイトルを付ける場合は、1～7の操作をくり返してください。

- AINCの場合は、YESボタンを押すと次の曲のタイトル入力画面になります。最後の曲のタイトル入力を終えてYESボタンを押すと、停止中の場合はディスク名を、再生中の場合は再生中の曲のタイトルを表示して、通常の表示に戻ります。

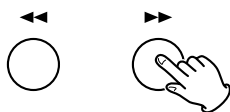
- サーチボタン(◀◀/▶▶)を押すとカーソルが左右に移動し、ディスプレーがスクロールします。文字を選んだあと、マルチジョグを押さずにサーチボタンでカーソルを移動することもできます。
- 入力した文字を修正するときは、サーチボタン(◀◀/▶▶)で修正したい位置までカーソルを移動して、文字を選び直してください。
- EDIT/NOボタンまたはDELETEボタンを押すと、一文字ずつ削除できます。
- 途中で文字の種類を変えるときは、DISPLAYボタンまたはリモコンのCHAR SELECTボタンを押してください。
- 入力した文字列の途中にスペースを挿入したい場合は、リモコンのINSERTボタンを押すか、マルチジョグを3秒以上押し続けると、スペースが入ります。
- 編集を中断したい場合は、停止ボタンまたはリモコンのTITLE EDITボタンを押してください。
- 再生中に編集していた場合は、リモコンのTITLE EDITボタンを押すか、EDIT/NOボタンを3秒以上押し続けると、再生を止めずに編集作業を中断できます。
- AINCで最後の曲までタイトルを付けた場合は、最後の曲に付けたタイトルだけが取り消しできます。
- AINCを中断した場合は、中断する前の曲までタイトルが保存されます。編集結果は取り消しできません。

タイトルに使える文字数

一枚のMDにつき最大1700文字、一曲につき100文字まで入力できます。スペースも一文字として数えます。カタカナを使用した場合は、一文字あたりのデータ量が大きいため、入力できる文字数は少なくなります。タイトルを削除するときは、既存のタイトルの上にスペースを上書きするのではなく、DELETEボタンまたはCLEARボタンで削除してください。

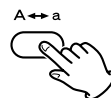
タイトルの編集に使用するボタン

文字の種類を変更するには

DISPLAYボタンまたはリモコンのCHAR SELECTボタンを押すと、文字の種類が変わります。

カーソルを移動するには

入力済みの文字列に文字を挿入するには

リモコンのINSERTボタンを押すか、マルチジョグを3秒以上押し続けると、一文字分のスペースが挿入されます。文字を挿入したいときは、スペースを挿入してから文字を上書きしてください。

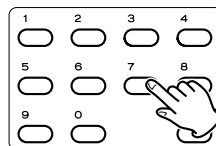
入力済みの文字を大文字または小文字に変更するには

変更したい文字にカーソルを移動して、リモコンのA-aボタンを押してください。

一文字ずつ削除するには

EDIT/NOボタンまたはリモコンのDELETEボタンを押すと、カーソルの下にある文字が削除されます。

全ての文字を削除するには

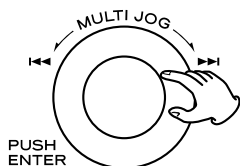
リモコンのCLEARボタンを押すと、編集中のタイトルの全ての文字が削除されます。

数字を入力するには

リモコンの数字キーを押すと、押した数字がそのまま入力されます。ENTERボタンを押す必要はありません。

● "+10"の数字キーは使用できません。

編集

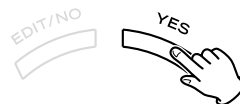
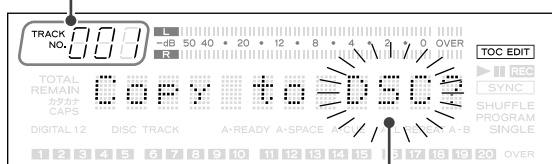
タイトルをコピーするには

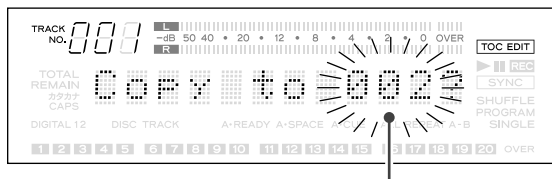
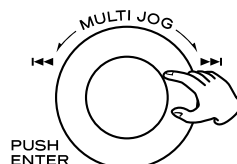
1 停止中にマルチジョグをまわして、コピー元の曲番を選ぶ。

● ディスクのタイトルを他の曲にコピーする場合は、マルチジョグをまわす必要はありません。**2** に進んでください。
● 曲に付いているタイトルをコピーする場合は、録音/再生中でもコピーできます。

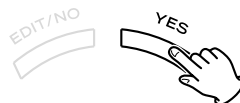
2 EDIT/NOボタンを押して"TITLE COPY ?"を選ぶ。

EDIT/NOボタンを押すたびに表示が変わります。"TITLE COPY ?"が表示されるまでくり返し押してください。

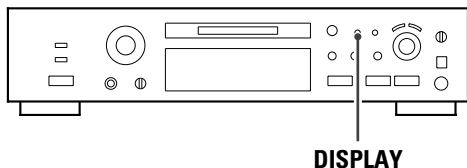
● 編集を中断したい場合は、停止ボタンまたはEDIT/NOボタンを押してください。

3 YESボタンを押す。

コピー元の曲番

コピー先：DSC(ディスク)または曲番

4 マルチジョグをまわしてコピー先を選ぶ。

例：曲番1のタイトルを曲番2にコピーする場合

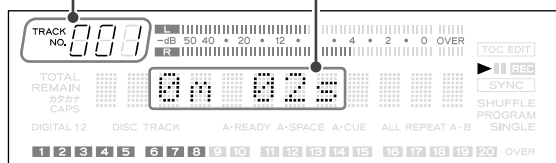
5 YESボタンまたはマルチジョグを押す。

コピーが完了し、コピーしたタイトルがスクロール表示されます。

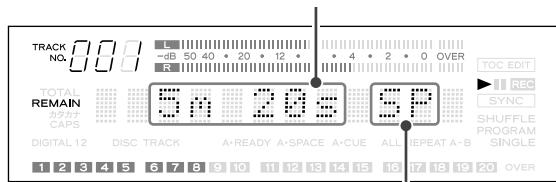
● コピー中に再生ボタンまたは一時停止ボタンを押すと、コピーが中断されます。

ディスプレーの表示

DISPLAYボタンを押すと、ディスプレーの表示が変わります。

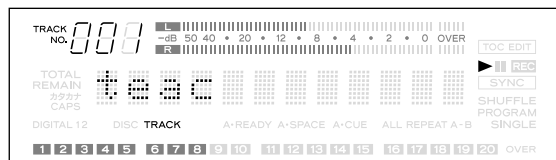
再生中の表示

再生中の曲の経過時間

再生中の曲番　再生中の曲の経過時間

再生中の曲の残り時間と録音モード

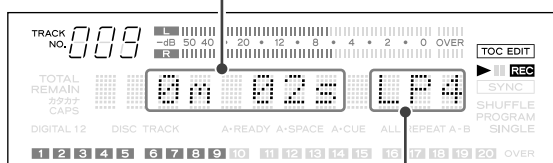
再生中の曲の残り時間

再生中の曲の録音モード(SP, MONO, LP2, LP4)

再生中の曲のタイトル

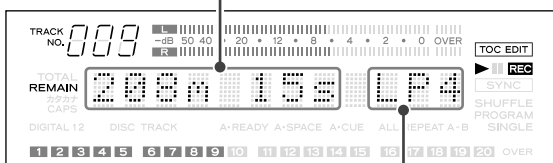
タイトルが付いていない場合は表示されません。

● 再生中にリモコンのSCROLLボタンを押すと、曲のタイトルがスクロール表示されます。

録音中の表示

録音中の曲の録音経過時間と録音モード

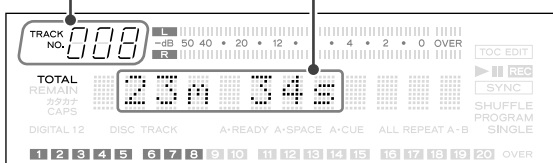
録音経過時間

録音モード(SP, MONO, LP2, LP4)

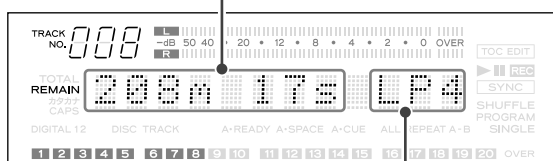
録音可能時間と録音モード

選択されている録音モードで録音する場合の録音可能時間

録音モード(SP, MONO, LP2, LP4)

停止中の表示

総曲数と総再生時間

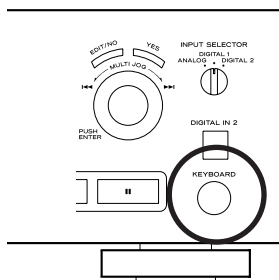
総曲数　総再生時間

MDの録音可能時間

選択されている録音モードで録音する場合の録音可能時間

録音モード(SP, MONO, LP2, LP4)

ディスクのタイトル

タイトルが付いていない場合は表示されません。
未録音のディスクの場合は"Blank Disc"が表示されます。

● 停止中にリモコンのSCROLLボタンを押すと、ディスクのタイトルがスクロール表示されます。

キーボードとの接続

市販の日本語対応DOS/V用キーボード(PS/2)を本体前面のKEYBOARD端子に接続すると、選曲や編集、タイトル入力などをキーボードで行うことができます。

本機のボタン	キーボード
⏮	F1
⏭	F2
STOP	F4
PLAY	F5
PAUSE	F6
RECORD	F8
AUTO SPACE	F9
REPEAT	F10
PLAY MODE	F11
DISPLAY	F12
YES	Enter
+10	+
数字キー	テンキー
CLEAR	Shift + F10
EJECT	Shift + F12
◀◀	←
▶▶	→

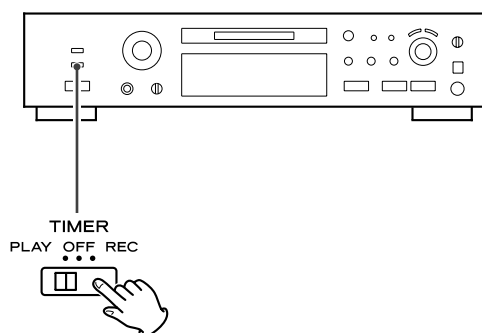
編集	キーボード
一曲消去(ERASE TRK)	Shift + F1
全曲消去(ERASE DSC)	Shift + F2
曲の移動(MOVE)	Shift + F4
曲の分割(DIVIDE)	Shift + F5
曲の結合(COMBINE)	Shift + F6
タイトルコピー(TITLE COPY)	Shift + F7
タイトルの編集(TITLE)	Shift + F8
取消(UNDO)	Shift + F9
モードの解除	Esc

タイトルの編集	キーボード
編集する曲番の選択/変更	↑ / ↓
カーソルの移動	← / →
アルファベットの大文字と小文字の切換	Caps
カタカナの入力	カタカナ
カーソルの前の文字の削除	Back Space
カーソル位置の文字の削除	Delete
カーソル位置に空白を挿入	Insert
タイトル入力の中断	Esc

● 付属のテンプレートをキーボードのファンクションキーの上に貼ってお使いください。
● [カタカナ]キーを押してカタカナ表示を点滅にすると、ローマ字入力になります。カタカナ表示を点灯にすると、カナ入力になります。
● タイトル入力の途中で、↑/↓を押して編集する曲番を変更すると、それまでに入力していたタイトルが保存されます。
● Capsとカタカナを同時に使うことはできません。
● 本機の電源を頻繁にオン/オフすると、キーボードを認識しないことがあります。数秒待ってから電源を入れてください。

タイマーとの接続

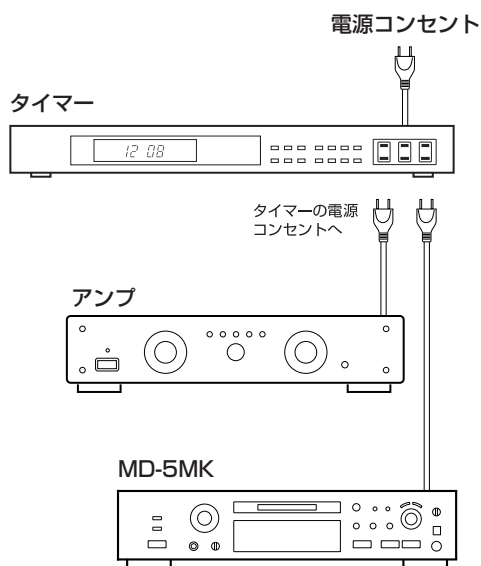
市販のタイマーと接続すると、希望の時刻に再生/録音することができます。下図のように接続してタイマーを設定すると、各機器の電源が切れます。設定した時刻になると、各機器の電源が入って再生/録音を始めます。

● 電源が入ったあと、ディスクを読み込むのに多少時間がかかりますので、再生/録音を始めたい時間より少し前にタイマーを設定してください。
● タイマーを使用しないときは、TIMERスイッチをOFFにしておいてください。
● タイマー録音のあとは、3日以内に本機の電源を入れてディスクを取り出してください。電源を切ったまま放置すると、録音内容が消えてしまうことがあります。

タイマー再生

再生用のディスクをセットした状態でTIMERスイッチをPLAYにすると、本機の電源が入ったときに自動的に再生を始めます。

タイマー録音

録音用のディスクをセットして、録音モードなどを設定しておきます(18ページ)。TIMERスイッチをRECにすると、本機の電源が入ったときに自動的に録音を始めます。

● シャッフル再生モードまたはプログラム再生モードになっていた場合は、自動的に通常の再生モード(CONTINUE)にしてタイマー録音を行います。

システム上の制約について

MD(ミニディスク)は、従来のカセットやDATと録音の方式が異なるため、いくつかのシステム上の制約があります。
その制約により、次のような症状が出る場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

録音可能時間内であっても"Track Full"が表示される。

➡ 時間に関係なく、曲数がいっぱいになると"Track Full"を表示します。MDシステムでは、255曲以上の録音はできません。さらに曲を追加録音するには、不要な曲を消すか、別のMDに分けて録音してください。

曲数も録音時間も余裕あるのに"Track Full"が表示される。

➡ 曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく"Track Full"を表示します。

何曲も消したがMDの残り時間が増えない。

➡ MDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視されるので、短い曲を何曲消しても時間が加算されないことがあります。

録音経過時間と残量時間の合計が、MDの録音可能時間と一致しない場合がある。

➡ 通常、1クラスタ(約2秒)が最小単位で録音されます。それに満たないものでも、2秒分のスペースを使うため、実際に使用可能な時間は少なくなります。またMDに傷があると、傷の部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。

つなぐことができない場合がある。

➡ 編集してできた曲は、つなげない場合があります。
➡ 録音モード(SP, LP2, LP4)の異なる曲をつなげることはできません。
➡ 3曲以上をつなげる場合、SPで約9秒、MONO/LP2で約17秒、LP4で約33秒以下の曲をつなげることはできません。

サーチを行うと音が途切れることがある。

➡ 編集してできた曲は、サーチすると音が途切れる場合があります。

曲番が正確に付かないことがある。

➡ デジタル接続でCDを録音するとき、CDの録音内容によっては、短い曲ができる場合があります。また、オートで曲番を付けた場合、録音するものの内容によっては曲番が正確につかないことがあります。

"UTOC Reading"表示がなかなか消えない。

➡ 新品の録音用MDをセットすると、通常よりも"UTOC Reading"表示が長くなります。

タイトルが1700文字入らない。

➡ タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されます。7文字以下のタイトルでも7文字分のスペースを使うため、1700文字入りきらない場合があります。

メッセージ一覧

Blank Disc
何も録音されていない録音用MDが入っています。
Cannot Copy !
コピーできません。
Cannot EDIT !
MDのシステム上の制約により編集できません。
COMPLETE
完了しました。
Disc Error !
ディスクに異常があります。ディスクを交換してください。
Disc Full !!
MDの残り時間がないため、録音できません。
D-IN UNLOCK !
デジタル入力が接続されていません。DIGITAL INに接続した機器の電源を入れてください。
ERASE DISC ?
ディスクの内容を全て消去しますか？
ERASE TRK ?
この曲を消去しますか？
NO DISC !!
MDが入っていません。
No Track !
一曲も録音されていません。
Name Full !
タイトルがいっぱいです。
PGM Empty !!
プログラムされていません。
PGM Full !
これ以上プログラムできません。
Play Mode !!
再生モードが違います。
Protected !!
再生専用のMDが入っています。
MDが誤消去防止状態になっています。
Rec Error !!
録音中にエラーが発生しました。録音をやり直してください。
Sure ?
確認を求めるメッセージです。
Track Full !!
曲番がいっぱいです。
TOC Reading
MDの情報を読み取っています。
UNDO ?
最後に行った編集を取り消しますか？
UTOC Writing
編集または録音の結果をMDに記録しています。

おや？故障かな？

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスセンターにご連絡ください。

電源が入らない
➡ 電源プラグの差し込みが不完全ではありませんか？

"Disc Error !"が表示される。
➡ MDが損傷しています。MDを交換してください。

再生できない。
➡ 結露している場合は、MDを取り出して数時間放置してください。
➡ 何も録音されていないMDが入っている場合は、録音されているMDを入れてください。
➡ MDは矢印の向きに挿入してください。

音が出ない。
➡ システムとの接続をもう一度確認してください。
➡ 音量等、アンプの操作を確認してください。

録音できない。
➡ MDが誤消去防止状態になっている場合は、誤消去防止つまみをスライドさせて孔をふさいでください。
➡ システムとの接続をもう一度確認してください。
➡ 録音レベルを調節してください。
➡ 再生専用のMDには録音できません。録音用MDと交換してください。
➡ MDの残り時間が足りない場合は、不要な曲を消去するかMDを交換してください。
➡ アンプの操作を確認してください。

雑音がする。
➡ テレビなど強い磁気を帯びたものからは十分離して設置してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に動作するようになります。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

仕　様

形式 ....ミニディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数 ....2チャンネル(ステレオ)
1チャンネル(モノラル)
レーザー ....半導体レーザー
記録方式 ....磁界変調オーバーライト方式
再生読み取り方式 ....非接触光学読み取り
録音再生時間 ....ステレオ録音：最長80分
モノラル録音：最長160分
LP2：160分
LP4：320分
回転数 ....約400rpm〜900rpm(CLV)
サンプリング周波数 44.1kHz
周波数特性 .... 再生時：20〜20kHz (±0.5dB)
録再時：20〜20kHz (±1.0dB)
ワウフラッター ....測定限界値以下
ダイナミックレンジ .... 再生時：98dB(EIAJ)
録再時：94dB(EIAJ)
S/N比 ....再生時：98dB(EIAJ)
録再時：94dB(EIAJ)
全高調波歪率 ....再生時：0.009%(EIAJ)
録再時：0.011%(EIAJ)
ライン出力レベル 2.0Vrms
電源 .... AC100V，50-60Hz
消費電力 13W
外形寸法(幅、高さ、奥行) ......435×100×310mm
質量 4.5kg
付属品 ....リモコン×1個
乾電池(単3形、SUM-3)×2本
入出力コード×2本
キーボード用テンプレート×1枚
取扱説明書、保証書

- EIAJは日本電子機械工業会規格に定められた測定法によるものです。
- 仕様および外観は改善のため予告なく変更されることがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

39ページの「おや？故障かな？」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
　　　　測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費等が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。
　　　　その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：ミニディスクデッキ　MD-5MK
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として愉しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先　(社)私的録音補償金管理協会
Tel:03-5353-0336　Fax:03-5353-0337

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ティアック株式会社

ティアック エソテリック カンパニー
〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3
電話：0422-52-5091 / FAX：0422-52-5194

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

http://www.teac.co.jp/av/
0903·MA-0435C　C